

[成果情報名] 六条はだか麦「ハルヒメボシ」の奨励品種採用

[要約] 「ハルヒメボシ」は、「マンネンボシ」や「ヒノデハダカ」に比べ出穂期および成熟期が同程度からやや早い、はだか麦早生品種である。また、収量がやや多く、硝子率は低く、精麦白度が高く、外観品質が良好であることから、奨励品種に採用する。

[キーワード] はだか麦、ハルヒメボシ、硝子率、精麦白度

[担当] 農業研究部、作物育種室

[代表連絡先] 電話 089-993-2020

[研究所名] 愛媛県農林水産研究所

[分類] 普及成果情報

[背景・ねらい]

愛媛県のはだか麦奨励品種は、現在「マンネンボシ」「ヒノデハダカ」であるが、近年硝子率の増加によって品質評価基準を達成できないことが問題となっている。

そこで、県内産はだか麦の安定生産と生産拡大を図るために、精麦品質に優れる多収の早生品種を選定し、導入する。

[成果の内容・特徴]

1. 「ヒノデハダカ」「マンネンボシ」と比較して、出穂期および成熟期は、同程度からやや早い（表1・表3）。
2. 稈長は「ヒノデハダカ」より短く、「マンネンボシ」と同程度であり、穂長は1 cm 程度長い（表1・表3）。
3. 「ヒノデハダカ」「マンネンボシ」と比較して、耐倒伏性は強い（表1）。
4. 子実重および千粒重は「ヒノデハダカ」と同程度であり、「マンネンボシ」よりやや多く、容積重はやや少ない（表2・表3）。
5. 搗精時間は「ヒノデハダカ」より短く、「マンネンボシ」より長い、精麦白度は高く、硝子率は低い（表2・表3）。

[普及のための参考情報]

1. 普及対象：はだか麦生産者
2. 普及予定地域：東中予の平坦地
3. 普及予定面積：1,600ha
4. その他：大麦縮萎縮病抵抗性は「強」、赤かび病抵抗性は「中」、うどんこ病抵抗性は「やや弱」である。

[具体的データ]

表1.「ハルヒメボシ」の生育特性

播種方法	品種	出穂期 月.日	成熟期 月.日	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 本/m ²	倒伏程度	発病程度		
								うどんこ病	赤かび病	萎縮病
全面全層播	ハルヒメボシ	3.30	5.18	82	5.3	452	0.3	0.1	0.0	0.0
	ヒノデハダカ	4.02	5.20	85	4.3	512	1.7	0.1	0.0	0.6
	マンネンボシ	4.03	5.20	83	4.5	469	0.3	0.1	0.0	0.0
ドリル播	ハルヒメボシ	3.31	5.19	87	5.7	396	0.1	0.3	0.0	0.0
	ヒノデハダカ	4.03	5.20	90	4.6	455	2.0	0.1	0.0	0.3
	マンネンボシ	4.03	5.21	85	5.0	390	0.5	0.3	0.0	0.0

注1) 播種基準日:11月16日

注2) 全面全層播:2003~2012年度奨励品種決定調査の平均値

注3) ドリル播:2005~2012年度奨励品種決定調査の平均(ただし、ヒノデハダカ2007年度の調査はなし)

注4) 倒伏程度:無(0)~甚(5)の6段階

表2.「ハルヒメボシ」の収量および品質特性

播種方法	品種	子実重 kg/a	収量比 %	屑麦率 %	容積重 g	千粒重 g	原麦 白度	搗精		硝子率	外観 品質	検査 等級
								歩留	白度			
全面全層播	ハルヒメボシ	50.0	101	6.9	792	33.2	13.5	62.9	45.2	36.4	4.0	1.1
	ヒノデハダカ	47.5	96	6.8	808	29.5	11.7	64.3	39.9	49.6	4.1	1.3
	マンネンボシ	49.5	100	3.1	813	33.9	12.0	60.1	41.9	51.4	3.7	1.2
ドリル播	ハルヒメボシ	53.9	108	5.2	792	34.3	13.1	63.5	44.8	33.3	3.7	1.2
	ヒノデハダカ	50.7	101	4.6	802	30.6	10.4	65.5	38.5	54.1	3.9	1.3
	マンネンボシ	50.1	100	2.9	806	35.0	11.4	60.0	41.8	53.1	3.5	1.2

注1) 試験年度は表1に準ずる

注2) 子実重:2.0mm篩上

注3) 容積重:ブラウエル穀粒計による

注4) 外観品質:上上(1)、上下(2)、中上(3)、中中(4)、中下(5)、下(6)

注5) 等級:穀物検定協会による検査、1等(1)、2等(2)、3等(3)

注6) 白度:ケット白度計C-300で測定

注7) 搗精:サタケテストミル、1040回転、砥石36番、マンネンボシ60%搗精時間

注8) 硝子率:ケット硝子率判定器RN-840で測定(2011、2012年の測定)

表3.現地調査における生育および収量

品種	出穂期 月.日	成熟期 月.日	稈長 cm	穂長 cm	穂数 本/m ²	倒伏 程度	子実重 kg/a	収量比 %	屑麦率 %	千粒重 g	容積重 g/l	原麦 白度	搗精		硝子率 %	外観 品質	検査 等級
													歩留	白度			
ハルヒメボシ	4.04	5.20	78	5.6	394	0.1	41.8	113	5.7	33.9	808	13.5	60.0	45.0	44.2	3.4	1.1
ヒノデハダカ	4.03	5.20	83	4.8	446	1.8	43.6	119	3.8	31.9	817	11.9	64.8	37.8	72.2	4.0	1.1
マンネンボシ	4.05	5.23	77	4.9	364	0.2	36.8	100	3.6	35.1	819	12.5	58.0	42.0	69.4	3.6	1.1

注1) 調査条件は表1・表2の脚注に準ずる

注2) 調査年度は、2009~2013年度奨励品種決定現地調査の平均(ただし2010年度の検査等級の調査はなし)

注3) 原麦白度、搗精歩留、精麦白度、硝子率については、2012~2013年度の平均値

注4) 調査地点は、西条市・松前町の2ヶ所で、数値は平均値

(松長 崇)

[その他]

研究課題名: 麦類奨励品種決定調査

予算区分: 県単

研究期間: 2003~2013年度

研究担当者: 松長 崇、池内浩樹、水口 聡、兼頭明宏